

2015年 3月 1日

No.306



石川県医療労働組合連合会

金沢市昭和町5-13 石川県平和と労働会館2F

TEL 076-261-8829

FAX 076-261-8918

URL <http://www.ishikawa-irouren.jp/>

2015春闘方針案が採択される！



働くルールの確立では「医療現場から過労死をださせない」を合言葉に労働時間管理、年休消化、勤務間隔確保の具体的改善などを求めます。

組織拡大強化では、新入職員対策を準備するとともに、県医労連として数年ぶりに新人歓迎企画としてUSJバスツアーを計画します。昨年超えた過去最高人員 2342 名をさらに上回らしましょう！

組合員のみなさん！15春闘頑張りましょう！

労働条件の改善を、実感できる行動をみんなで取り組みましょう！

石川県医労連は2月6日第42回中央委員会を開催し、15春闘方針案を満場一致で採択しました。

賃上げ要求では、今年も引き続き、「月額平均4万円以上」「パート労働者時間給250円以上」の大幅賃上げ、看護師・介護福祉士・高卒者の初任給・35歳・50歳のポイント賃金、「企業内最低賃金」締結・改善を求めます。県医労連内の各施設の賃金実態調査をさらに深め、施設間格差の是正も強化していきます。

夜勤改善・大幅増員のたたかいでは、来年からの第8次看護職員需給見通し計画の策定と勤務環境改善支援センターの取り組みの積極的推進と具体化を県に迫り、現場で見える増員・職場改善にさせていきます。



2・5夜勤改善・大幅増員シンポ に参加しました

2月5日 夜勤改善・大幅増員をめざすシンポジウムが衆議院第一議員会館で行われました。オーストラリアで制定された看護師比率法を中心に「オーストラリア視察報告」が森田副委員長からあり、その後、労働科学研究所・慢性疲労研究センター長の佐々木司氏、全労連・伊藤雇用労働法制局長の伊藤圭一氏、森田副委員長をパネラーにしてシンポジウムが行われました。

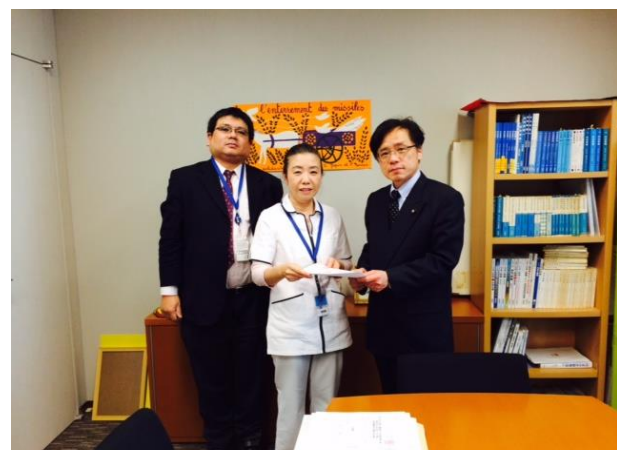
森田副委員長からは、「オーストラリア・ビクトリア州の看護師比率法では、一般病棟では、日勤で1:4+責任者、夜勤で1:8になっている。看護師比率法制定前は、看護師不足だったが、運動によって制定されたことごと。」伊藤氏からは、「厚生労働省の労働法制の議論の中で勤務間隔の問題が論議になっていることや全労連の中で夜勤者は、週32時間労働という合意が生まれつつあること」が報告されました。佐々木氏からは「看護と看護労働は、違う。看護は、自主的なもので、看護労働は、社会が認めた活動=看護労働だと。看護師自らが仕事の改善を含めて改善を求めていくことが必要」と報告がありました。フローアからは、京都民医労で正循環の夜勤を行っていて、妊娠者が増えたという報告もありました。

社会の中で夜勤がある労働者は、2割でしかありません。社会全体に看護労働の重要性と大変さを知ってもらい、共闘することが運動を進めていく上で需要だと思います。私たちも、自分たちの労働・夜勤を社会に訴え夜勤規制を世論としていかなければ、患者の命も守られないのだと強く思いました。(UK)

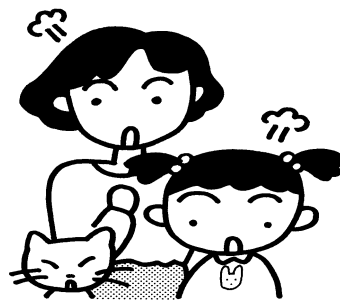
2・6 国会要請行動に参加

石川県医労連からは、済生会労組・北浜委員長と県医労連書記の嵯峨が参加しました。石川県選出とブロック選出の衆議院議員4名、(馳 浩、佐々木 紀、北村 茂男、藤野保史)、参議院議員4名(岡田 直樹、山田 修路、宮本しゅうじ、井上哲士)に要請しました。昨年行った看護実態調査の石川県版を渡して「妊娠時の異常が47%となっていて、全国の調査より7ポイントも高くなっており、早急な改善が必要」と訴えました。

自民党の議員は、すべて秘書対応で、北村議員は、環境副大臣となっているため、紹介議員には、なれないとの返事が返ってきました。井上哲士参議院議員(日本共産党)とは、事前にアポが取れ、議員本人と懇談することができました。井上議員は「先日の小池晃議員の介護報酬の切り下げについての質問では、安倍首相の前で自民党席から拍手が起きた。こんなひどい改悪は、許されない。共産党としても奮闘する」とコメントしていただきました。藤野議員は、原発問題で福島に行き、不在でしたが、部屋に入れていただいて、秘書の方と懇談することができました。署名の趣旨には、党として賛成で、議員本人に確認して返事するということでした。



介護要求実現！全国学習交流 集会在開催される！



2月14日～15日、仙台市秋保温泉にて、日本医労連介護要求実現！全国学習交流集会在全国から100名を超える参加者で開催されました。石川県からは民医労から鈴木森夫元県医労連委員長を先頭に4名と馬渡書記長が参加しました。

記念講演は、石川県ではおなじみの星稜大学の曾我千春先生が「社会保障はどうあるべきか」という社会保障のそもそも論から今の介護保険制度の在り方を批判しました。特に印象に残ったのは「介護保険制度は医療保険と違い、現金給付なのです」と指摘されたことです。医療もこれが狙われているのです。

基調報告では1月に閣議決定された平均2.27%（実質4.48%）介護報酬引き下げは、政府は「処遇改善と介護報酬の引き下げは両立する」と言っていますが、これが実施されれば処遇の引き下げどころか、廃業により雇用を失う介護労働者もでてきかねません。現場では低賃

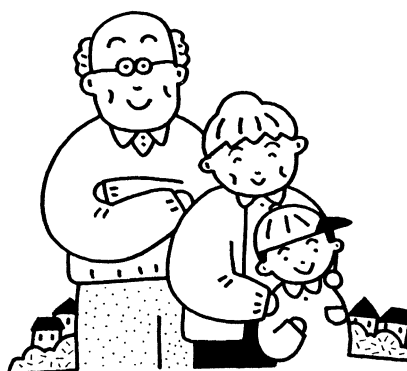
金・過重労働で介護職が集まらないだけでなく離職率も全産業平均を上回っており、職場の人員不足は深刻な状況になっています。こうした現場を顧みない政府の暴走に対し、事業者や自治体からも反発の声が上がっています。国会でも自公政権に対し、報酬引き下げ撤回の追及が始まっています。こうした撤回の運動をこの春闘でさらに広げ、安倍暴走政治にストップかけていこうと意思統一しました。

各県からの取り組み状況では北海道、東京、埼玉、宮城から報告され自治体請願や職場でのたたかいが報告されました。

二日目は二つの分散会、三つの分科会に分かれ討論し、職場の生々しい苦しい実態や労働組合として取組みなど時間が足りないほどの熱心な議論と討論がおこなわれました。

来年は是非、民医労以外の単組からも介護の組合員を組織して参加しなければと思いました。

(KM)



「青ひげ先生の聴診器」に、2日間で1050名が観劇

2月27・28日金沢文化ホールで公演された「青ひげ先生の聴診器」（青年劇団）約1050名の観劇で成功しました。自ら闘病しながら、往診と職場仲間との芝居を楽しむ精力的に活動する青ひげ先生を中心に描きながら、患者の願いに寄り添い「パチンコ」『自分にお金で立てたというお墓が見に行きたい』などのささやかな夢を実現させていきます。また、最近切実な問題となっている震災後のDV問題や医療訴訟の問題も劇内に登場しました。医療は患者と医療従事者そして社会の営みであることを強く感じました。今回、観劇できなかった方も是非観ていただきたいと思います。

民医労城北支部旗開き、盛会

2月10日、石川民医連労働組合城北支部は、「2015年旗開き」をホテル日航金沢で開催。組合員、来賓あわせて約150人が参加し、盛会でした。

武島支部長のあいさつの後、来賓の県労連、地域労連、共産党からそれぞれ祝辞があり、県労連の長曾輝夫事務局長が「15春闘では賃上げ何としても勝ちとろう」とあいさつしました。

大抽選会では、いろいろな目玉商品が用意され、会場を盛り上げました。

最後に、鑑史朗副支部長が「団結ガンバロウ」を行い、閉会しました。



医労連共済特別キャンペーン

医労連共済特別キャンペーンをしています。説明会を開催し、新規の個人共済もしくは新規の火災共済が複数以上あれば2万円のクオカードを進呈しています。医労連の拡大月間（3月～5月）中では、説明会を開催し、火災共済の新規加入者が複数以上あれば2万円を3万円のクオカードを進呈しています。自動車共済「見積もりキャンペーン」も5月31日まで実施中です。キャンペーンを軸に組合加入と共済推進の積極的な取り組みをお願いします。

当面のスケジュール

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 3月 1日（日） | 3・1ビキニデー集会 |
| 3～4 | 日本医労連春闘中央行動
（政府交渉は4日） |
| 4日（水） | 全労連
・春闘共闘中央行動 |
| 8日（日） | 国際女性デー |
| 8日（日） | 原発ゼロ・志賀原発廃炉
石川県行動（金沢市役所前）13時30分～ |
| 11日（水） | 回答指定日 |
| 12日（木） | ストライキを含む
全国統一行動 |
| 13日（金） | 重税反対全国統一行動 |
| 14～15日（土・日） | いのちと健康守る
地方センター交流会（岐阜） |
| 17日（火） | 日本医労連加盟組織書記長会議 |
| 23日（月） | ～追い上げゾーン |
| 24日（火） | 東海北陸ブロック代表者会議 |
| 4月12日（日） | 一斉地方選挙投票日（都道府県・政令市） |
| 4月26日（日） | 一斉地方選挙投票日（市町村） |
| 5月30日（土） | 新組合員歓迎企画・
（大阪USJ） |
| 7月5日（日） | 医労連介護研究集会
（地場産） |